

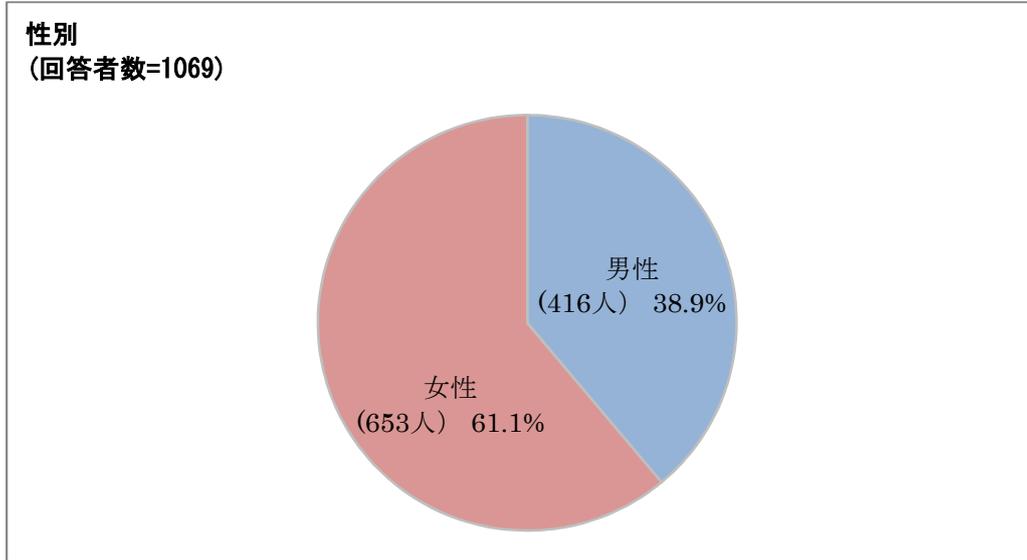
## 成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

第 100 回のテーマは「教育に関するアンケート」でした。

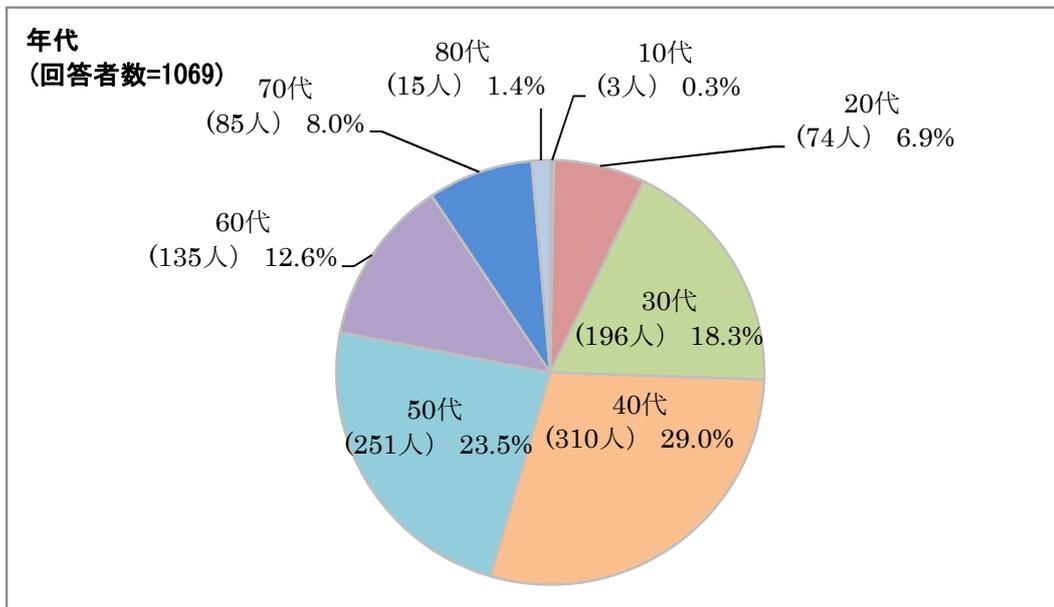
配信者数:1,564 人

実施期間:令和 6 年 9 月 20 日(金)～9 月 30 日(月)

回答者数(回答率):1,069 人(68.3%)



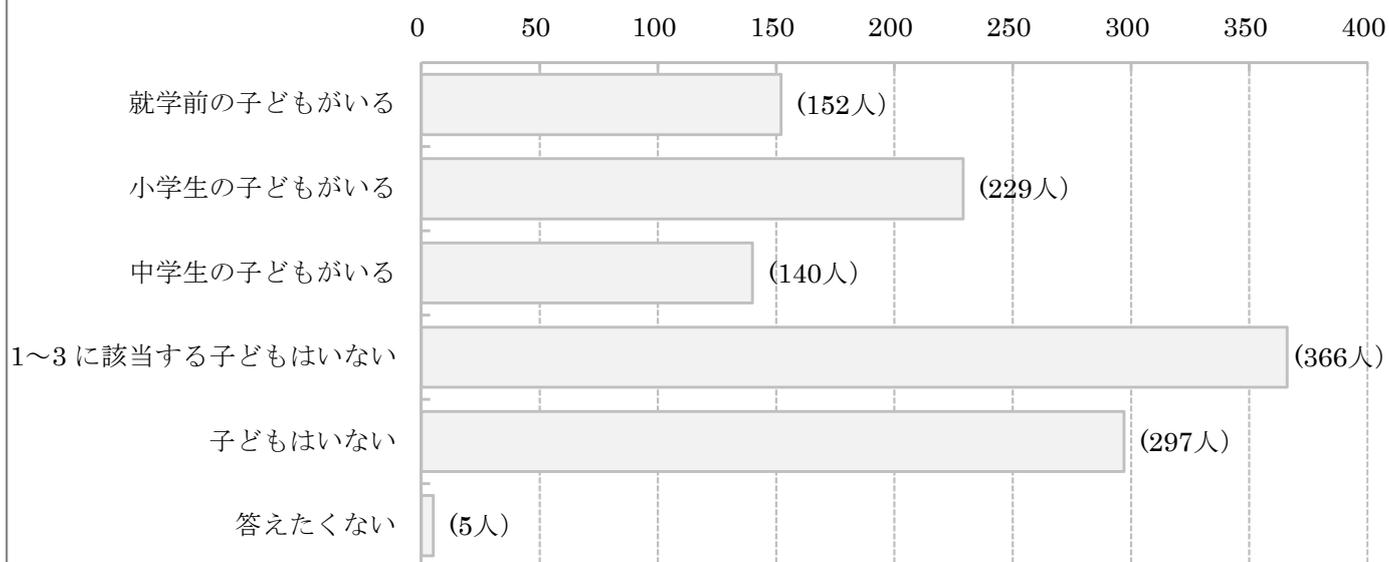
単一回答	人	%
全体	(1069)	
1 男性	416	38.9
2 女性	653	61.1



単一回答	人	%
全体	(1069)	
2 10代	3	0.3
3 20代	74	6.9
4 30代	196	18.3
5 40代	310	29.0
6 50代	251	23.5
7 60代	135	12.6
8 70代	85	8.0
9 80代	15	1.4

[Q1] あなたは、次のうちいずれに該当しますか。

(回答者数=1069)

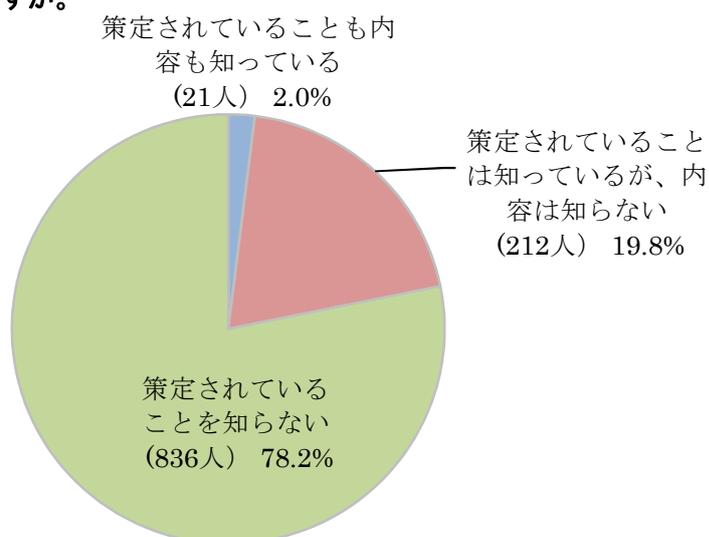


複数回答	人	%
全体	(1069)	
1 就学前の子どもがいる	152	14.2
2 小学生の子どもがいる	229	21.4
3 中学生の子どもがいる	140	13.1
4 1～3に該当する子どもはいない	366	34.2
5 子どもはいない	297	27.8
6 答えたくない	5	0.5

[Q2] 成田市教育大綱が策定されていることを知っていますか。

また、内容も知っていますか。

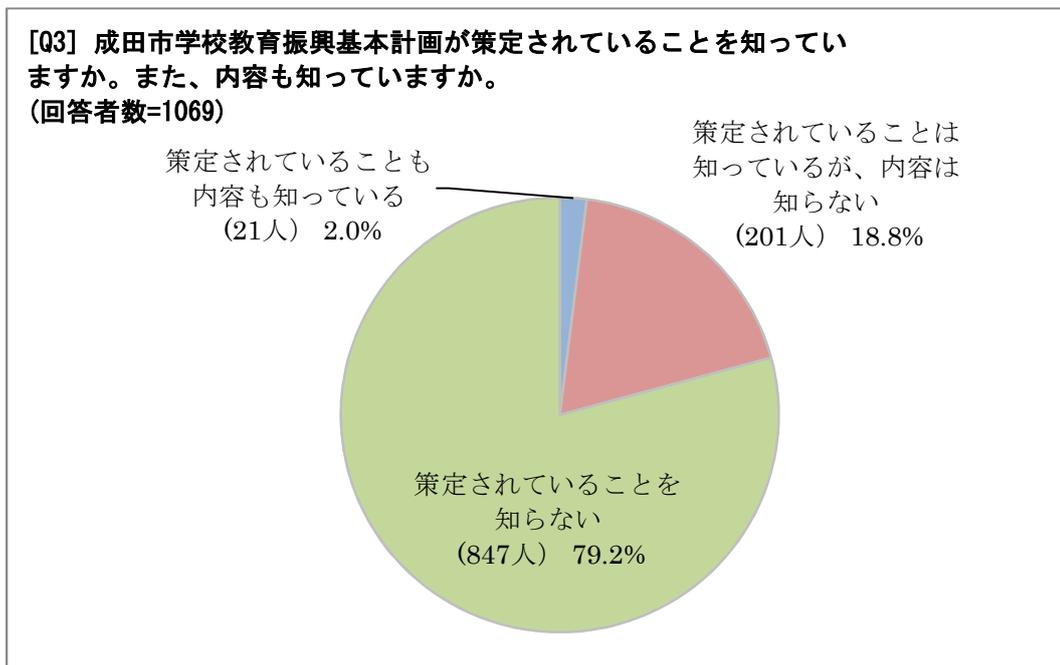
(回答者数=1069)



単一回答	人	%
全体	(1069)	
1 策定されていることも内容も知っている	21	2.0
2 策定されていることは知っているが、内容は知らない	212	19.8
3 策定されていることを知らない	836	78.2

【分析結果】

全体の 8 割程度が既存の成田市教育大綱が策定されていることを知らないという結果になりました。本大綱は本市の教育が目指す基本的な方向性を示したものであり、今後新たな計画の策定に合わせて大綱の見直しをする予定であることから、市民への周知方法についても検討する必要があります。

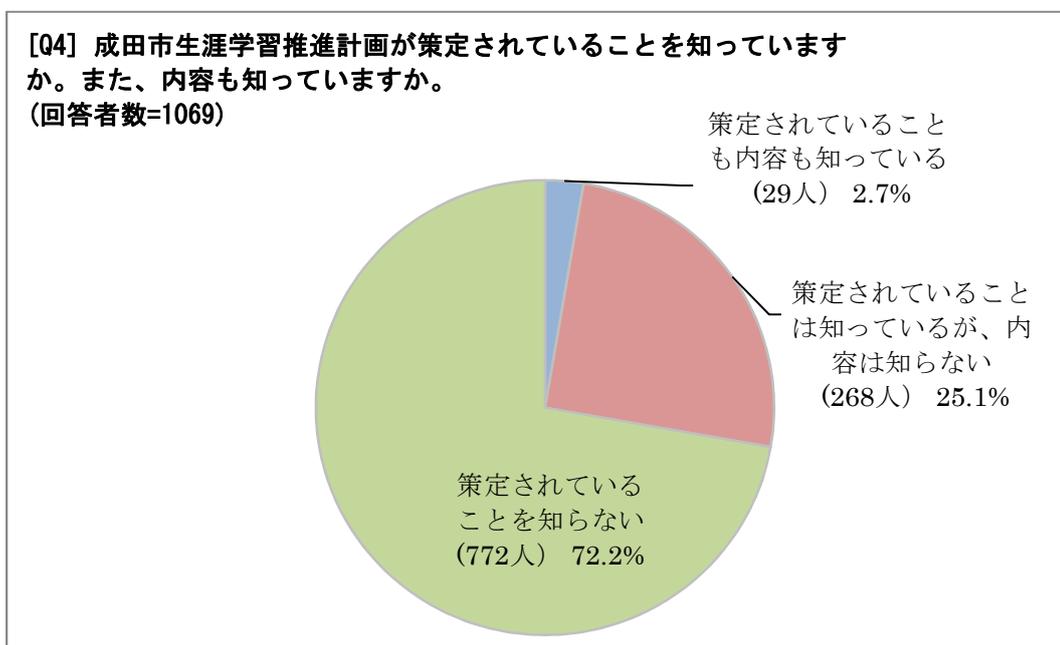


単一回答		人	%
全体		(1069)	
1	策定されていることも内容も知っている	21	2.0
2	策定されていることは知っているが、内容は知らない	201	18.8
3	策定されていることを知らない	847	79.2

【分析結果】

全体の 8 割程度が既存の成田市学校教育振興基本計画が策定されていることを知らないという結果になりました。

本計画は本市の教育が目指す基本的な方向性を示したものであり、今後新たな計画を策定する予定であることから、市民への周知方法についても検討する必要があります。

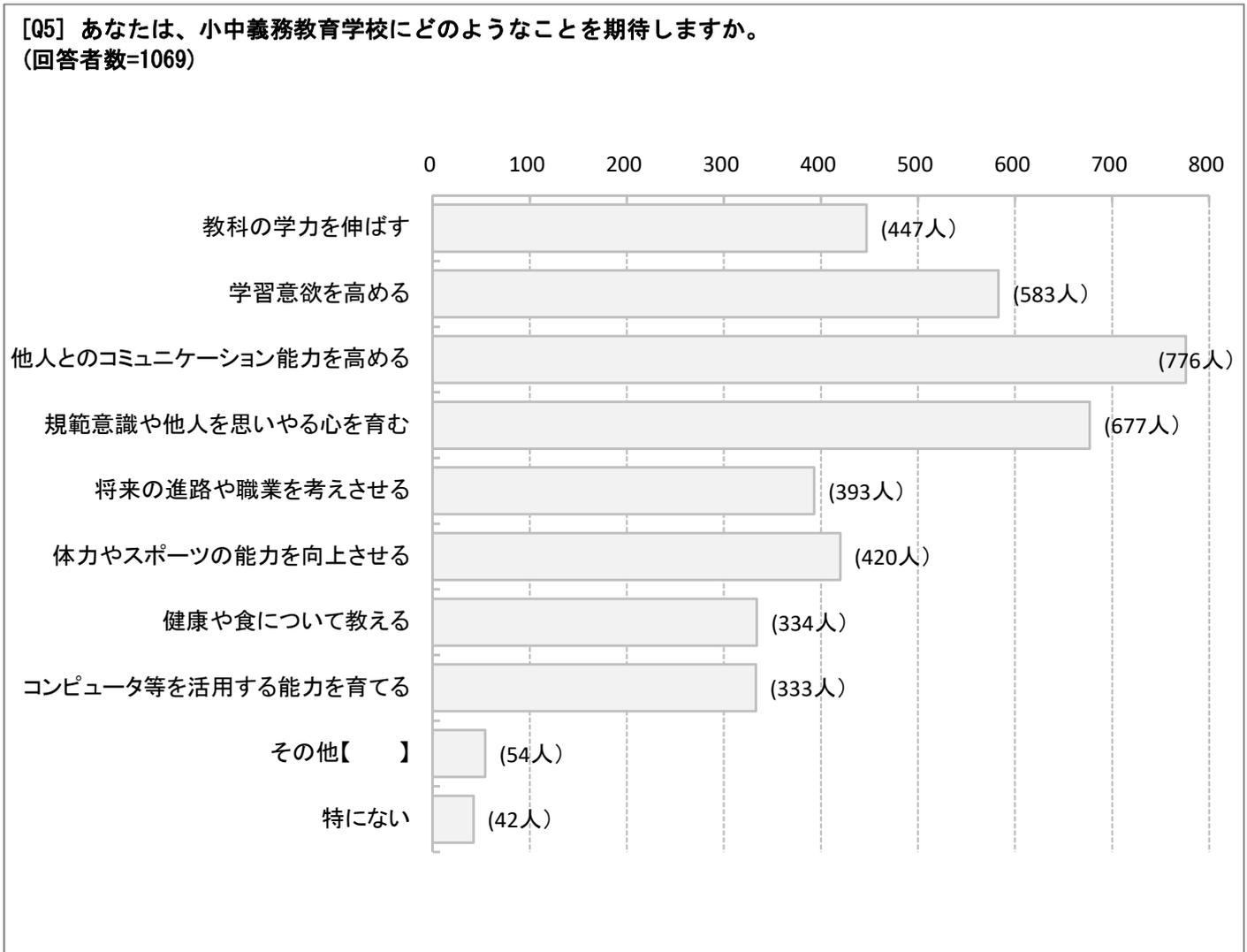


単一回答		人	%
	全体	(1069)	
1	策定されていることも内容も知っている	29	2.7
2	策定されていることは知っているが、内容は知らない	268	25.1
3	策定されていることを知らない	772	72.2

### 【分析結果】

全体の7割程度が既存の成田市生涯学習推進計画が策定されていることを知らないという結果になりました。

本計画は令和8年度に学校教育振興基本計画との統合を行う予定であることから、市民への周知方法についても検討する必要があります。



複数回答		人	%
	全体	(1069)	
1	教科の学力を伸ばす	447	41.8
2	学習意欲を高める	583	54.5
3	他人とのコミュニケーション能力を高める	776	72.6
4	規範意識や他人を思いやる心を育む	677	63.3
5	将来の進路や職業を考えさせる	393	36.8
6	体力やスポーツの能力を向上させる	420	39.3
7	健康や食について教える	334	31.2
8	コンピュータ等を活用する能力を育てる	333	31.2
9	その他【 】	54	5.1
10	特にない	42	3.9

## 【分析結果】

小中義務教育学校に期待することとしては、他人とのコミュニケーション能力を高めるが最も多く776人(72.6%)で、規範意識や他人を思いやる心を育む677人(63.3%)、学習意欲を高める583人(54.5%)と続きました。学力など、テストの成績等である程度結果が可視化しやすいものより、人とのつながりなど、共感力や他者との相互理解力の充実を学校教育に期待する方が多いようです。

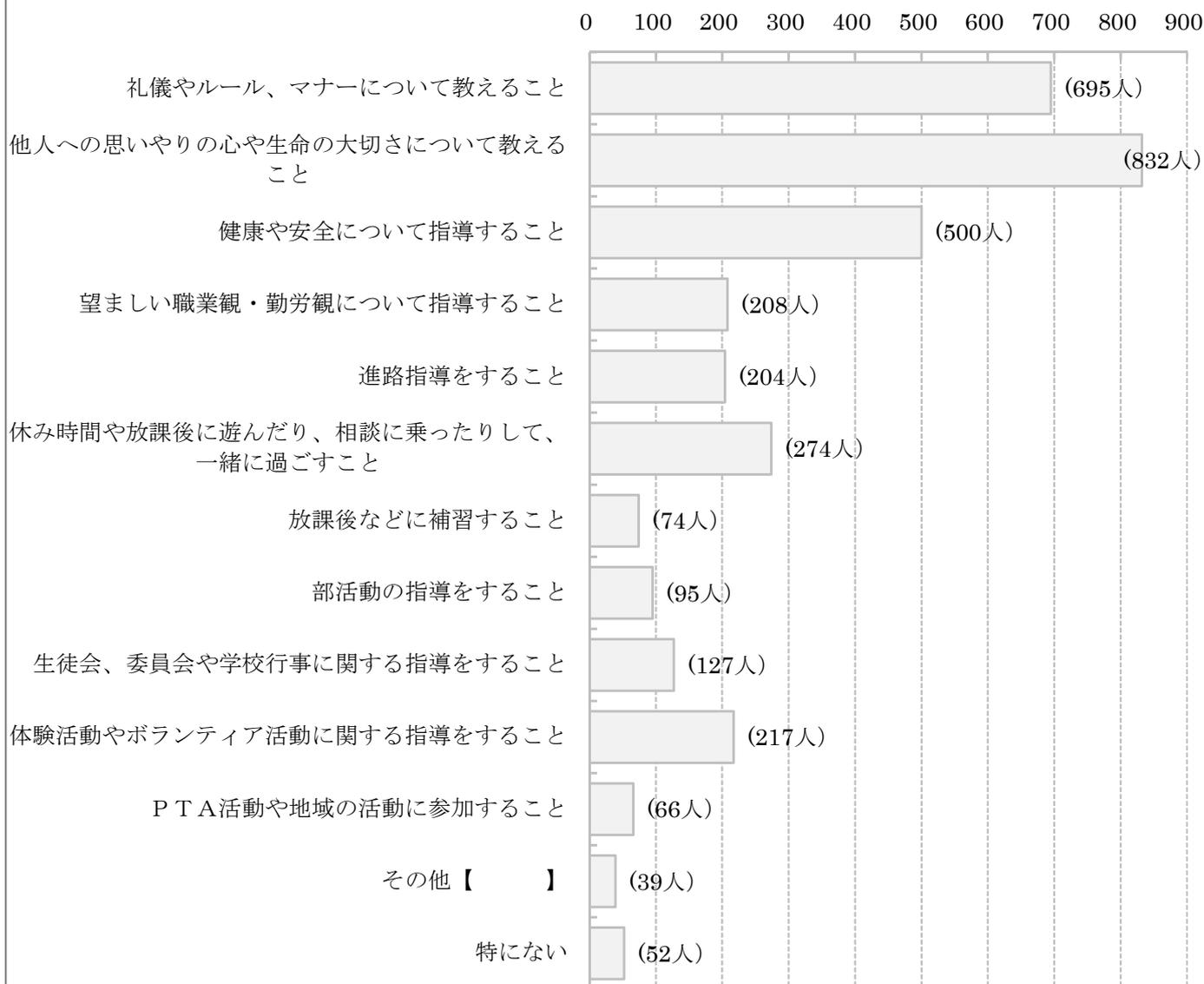
## その他の意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 個々の能力や個性を大事にする、伸ばす
- 教師の質の向上
- 地域愛を育む
- イジメは犯罪の意識付け
- 海外へ目を向け、実際に日本から出て、世界的視点で日本を考える力を養う教育。
- 朝起きて夜寝る、生活リズムを整える
- 体力やスポーツの能力を向上するのではなく、楽しさや挑戦する気持ちを養って欲しい。
- 社会での適応能力を育てる
- 生きる力(自然との共存、人との関わりなど広い視点)
- モノ作り、心の動き、お金の大切さ、順法精神、清潔感
- たただただ毎日が楽しく過ごせる事
- 情報収集能力、思考力を鍛える
- さまざまなものに触れる機会を増やす
- 多様性への理解
- 道徳
- 勉強が苦手な子どもをなるべく取り残さない
- 感じて、考えて、仲間と行動する力
- 自立心と公共心を育む
- 自己肯定感を高める
- 外国語の学習、特に会話能力の向上を図る。
- 日本人としての誇りを持たせてあげる、教育を即刻導入して下さい。
- 日本の国の正しい歴史を教え、先人達がどのように日本を作ってきたかを教えて欲しい。そしてその中にある地元成田の歴史を教えて欲しい。
- 社会常識(モラルや、マナー)
- 個人の権利を認められる教育、環境づくり
- 基礎的な学力を維持する
- お金や税金に関する教育

[Q6] あなたは、小中義務教育学校の先生に授業以外でどのようなことを期待しますか。

(回答者数=1069)



複数回答	人	%
全体	(1069)	
1 礼儀やルール、マナーについて教えること	695	65.0
2 他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること	832	77.8
3 健康や安全について指導すること	500	46.8
4 望ましい職業観・勤労観について指導すること	208	19.5
5 進路指導をすること	204	19.1
6 休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと	274	25.6
7 放課後などに補習すること	74	6.9
8 部活動の指導をすること	95	8.9
9 生徒会、委員会や学校行事に関する指導をすること	127	11.9
10 体験活動やボランティア活動に関する指導をすること	217	20.3
11 P T A活動や地域の活動に参加すること	66	6.2
12 その他【 】	39	3.6
13 特にない	52	4.9

## 【分析結果】

小中義務教育学校の先生に授業以外で期待することとしては、他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えることが最も多く 832 人(77.8%)で、礼儀やルール、マナーについて教えること 695 人(65%)、健康や安全について指導すること 500 人(46.8%)と続きました。他者との関わり方や、健やかな生活が送れるようにすることなど、子どもたちが学校生活を終えた後も、社会で生きていくうえで必要なことを求める方が多いようです。

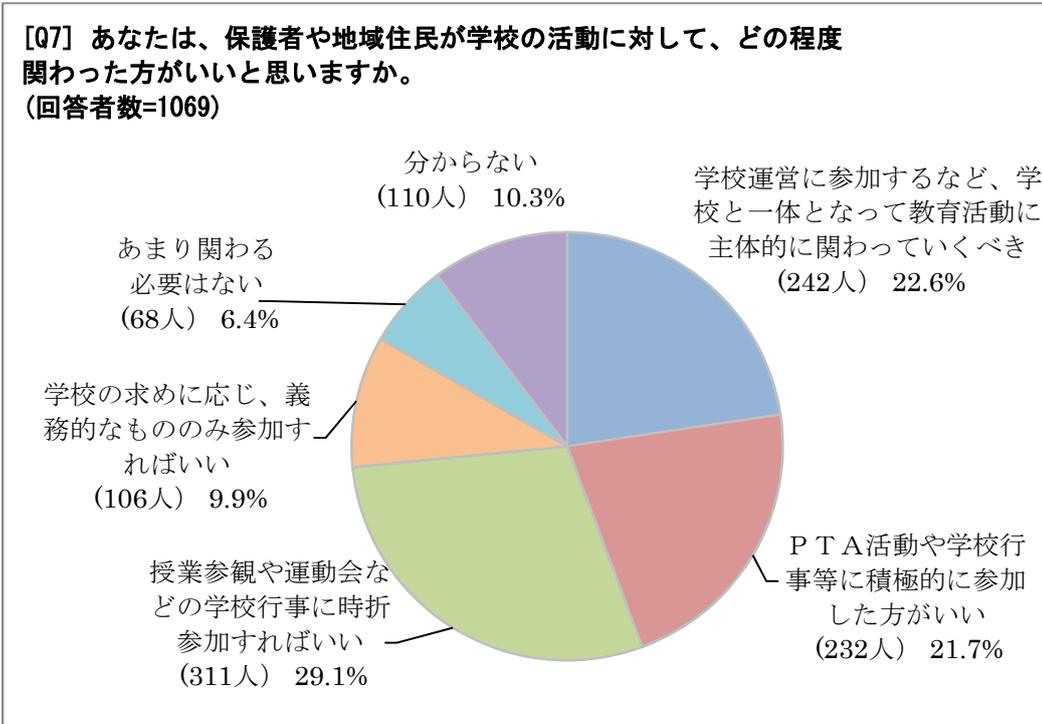
## その他の意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- まず、教師がまともにならなければ何も教えてもらいたくない
- 教員への礼儀や愛国心
- 障害者など社会的弱者との交流
- 地域の伝統にふれる体験をする
- 加虐性精神疾患の有無を確認するメンタルチェック
- 机での教育以外に、一步学外へ出ると色々な場面に遭遇する。そんな時に立ち向かう力を養う。
- 教師は科目だけ教えて他のことは別の方が担当した方が負担が減りそうという安直な考え
- 授業と生徒指導に重点をおき、それ以外のできないことは専門機関や地域、ボランティアを活用できるような行政の体制が整うと良い。できないことをできないと言える職場環境であると良い。
- 日本国民の優れたところ 指導する
- 教師には授業に注力してほしい。その他のことは基本的に親の責任！
- 教員としてのスキル向上に努める事
- 子どもたちから相談されれば真摯に対応すること。子どもたちをみてればおのずと何を欲しているのか先読みできると思う。
- 適切な休養を取ること。
- 敬う心を育てること
- 家庭環境や友人関係で悩む子どもを早期発見し、しかるべき対応をとる
- 私は教員ですが以上のものは教員の仕事でないものが多いです。これを聞いて期待されても、全教員が期待通りにはできません。まずは人を増やすことから始めてください。この質問は教員からすると非常に現実離れしています。
- 人としての基本、身近な大人としての当たり前の姿しかもとめない
- 虐待やネグレクトなどにいち早く気づいてサポートしてあげてほしいです。先生だけだと大変だろうから、カウンセラーとコミュニケーションを取る時間など増やしていただけたらなど
- 時間外であれば専門の先生を派遣することが望ましい。公務員の先生の時間外労働を減らした方が良い
- 親にはない視点で子供に指導をお願いしたい
- 先生方の仕事の大変さも垣間見たことがあります、とにかく教える時間以外をもっと減らして下さい。給料を上げて下さい。先生方を絞り上げるように使っていたら、なる人も少なくなります。
- 自己肯定感を持たせること。勉強を教えるのは当たり前なので、それについて行けない子供でも世の中勉強だけではないということを感じさせてあげるとか。
- 生徒への性加害をなくしたい
- 自尊心を育てたい
- 無理をせず休む事の大切さを教えてあげてほしい。他者の意見を尊重し、同調圧力は育まないよう

にしてほしい。

- 子供にとって、信頼、相談できる大人であること
- 小中学校の教員は勤務時間が長すぎるのでは？給特法により民間と同じ基準で時間外手当を支払えないのであれば、授業以外の負担はなるべく無くし、外注などで補うべきではないかと感じます。
- 経済の勉強 投資



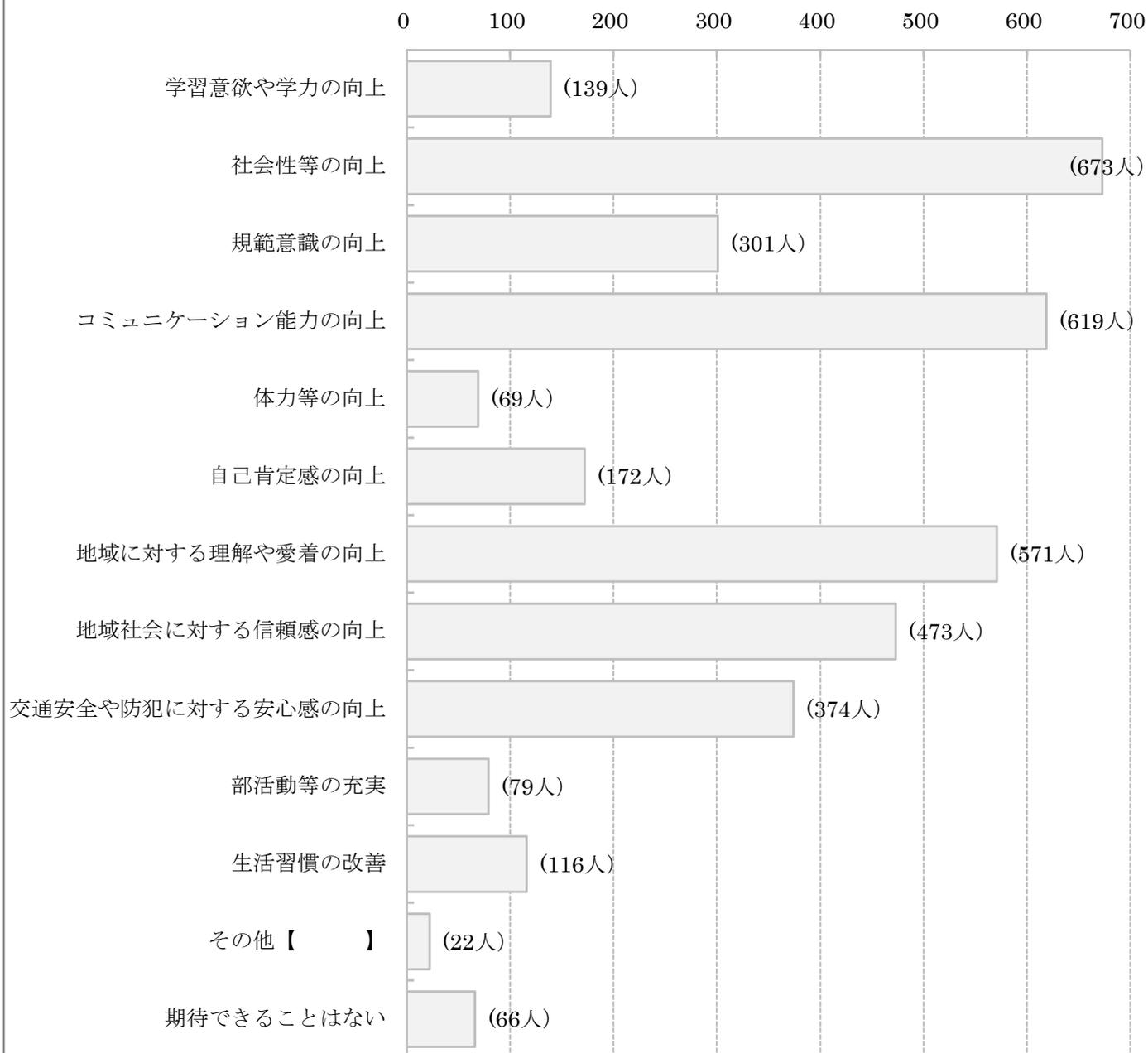
単一回答		人	%
	全体	(1069)	
1	学校運営に参加するなど、学校と一体となって教育活動に主体的に関わっていくべき	242	22.6
2	PTA活動や学校行事等に積極的に参加した方がいい	232	21.7
3	授業参観や運動会などの学校行事に時折参加すればいい	311	29.1
4	学校の求めに応じ、義務的なもののみ参加すればいい	106	9.9
5	あまり関わる必要はない	68	6.4
6	分からない	110	10.3

【分析結果】

保護者や地域住民の学校活動への関わり方については、学校行事に時折参加すればいいが最も多く311人(29.1%)で、学校と一体となって教育活動に主体的に関わっていくべき242人(22.6%)、学校行事等に積極的に参加した方がいい232人(21.7%)と続き、全体の約7割が、学校の活動に関わっていく方がいいという回答結果になりました。

[Q8] あなたは、保護者や地域住民が学校と連携して活動することによって、子どもたちに対してどのような効果が期待できると思いますか。

(回答者数=1069)



複数回答	人	%
全体	(1069)	
1 学習意欲や学力の向上	139	13.0
2 社会性等の向上	673	63.0
3 規範意識の向上	301	28.2
4 コミュニケーション能力の向上	619	57.9
5 体力等の向上	69	6.5
6 自己肯定感の向上	172	16.1
7 地域に対する理解や愛着の向上	571	53.4
8 地域社会に対する信頼感の向上	473	44.2
9 交通安全や防犯に対する安心感の向上	374	35.0
10 部活動等の充実	79	7.4
11 生活習慣の改善	116	10.9
12 その他【 】	22	2.1
13 期待できることはない	66	6.2

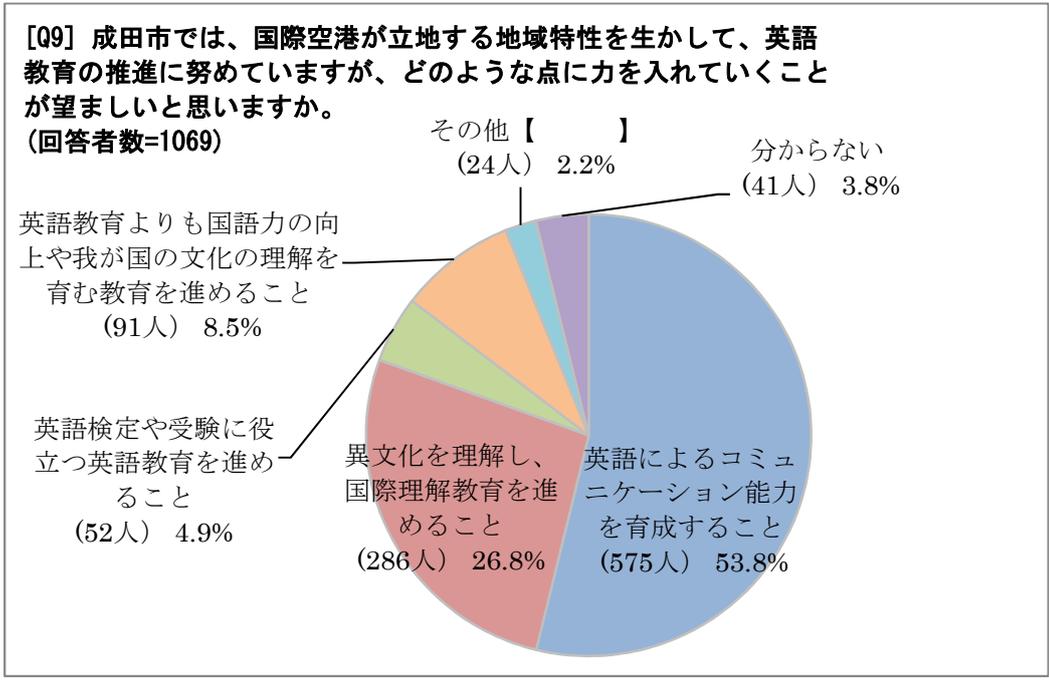
【分析結果】

保護者や地域住民が学校と連携して活動することによって、子どもたちに対してどのような効果が期待できるかについては、社会性等の向上が最も多く 673 人(63%)で、コミュニケーション能力の向上 619 人(57.9%)、地域に対する理解や愛着の向上 571 人(53.4%)と続き、社会性や地域愛の向上が期待できるという結果になりました。可能な範囲で保護者や地域住民の方々にも学校運営にご協力いただくことは重要だと考えられます。ただ、少子化や人口減少等により、地域のつながりが希薄になっていると言われており、どのようにして保護者や地域住民が学校運営に関わっていくか検討が必要になりそうです。

その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 子どもたちが安全安心に学校生活が送れること
- 教員の価値観以外を伝えられる機会が増え、教員の負担が減る。
- 学校の日常生活とは異なる新鮮な感覚
- 家族、教員だけでない、多様な大人と関われる効果
- 学校が子どもたちのために運営されているか確認することができる
- 多様な価値観を持つ人との出会い
- 感謝の気持
- 人としてのあり方、大人の姿
- 学校施設の不備や老朽化の程度、教員の雰囲気などがわかり改善でき子供にとって良い結果になりそう。



単一回答	人	%
全体	(1069)	
1 英語によるコミュニケーション能力を育成すること	575	53.8
2 異文化を理解し、国際理解教育を進めること	286	26.8
3 英語検定や受験に役立つ英語教育を進めること	52	4.9
4 英語教育よりも国語力の向上や我が国の文化の理解を育む教育を進めること	91	8.5
5 その他【 】	24	2.2
6 分からない	41	3.8

## 【分析結果】

英語によるコミュニケーション能力を育成すること 575 人(53.8%)、異文化を理解し、国際理解教育を進めること 286 人(26.8%)と、全体の 8 割を超える方が英語教育を通じて異文化に関心を持ち、理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を養うべきと考えているようです。

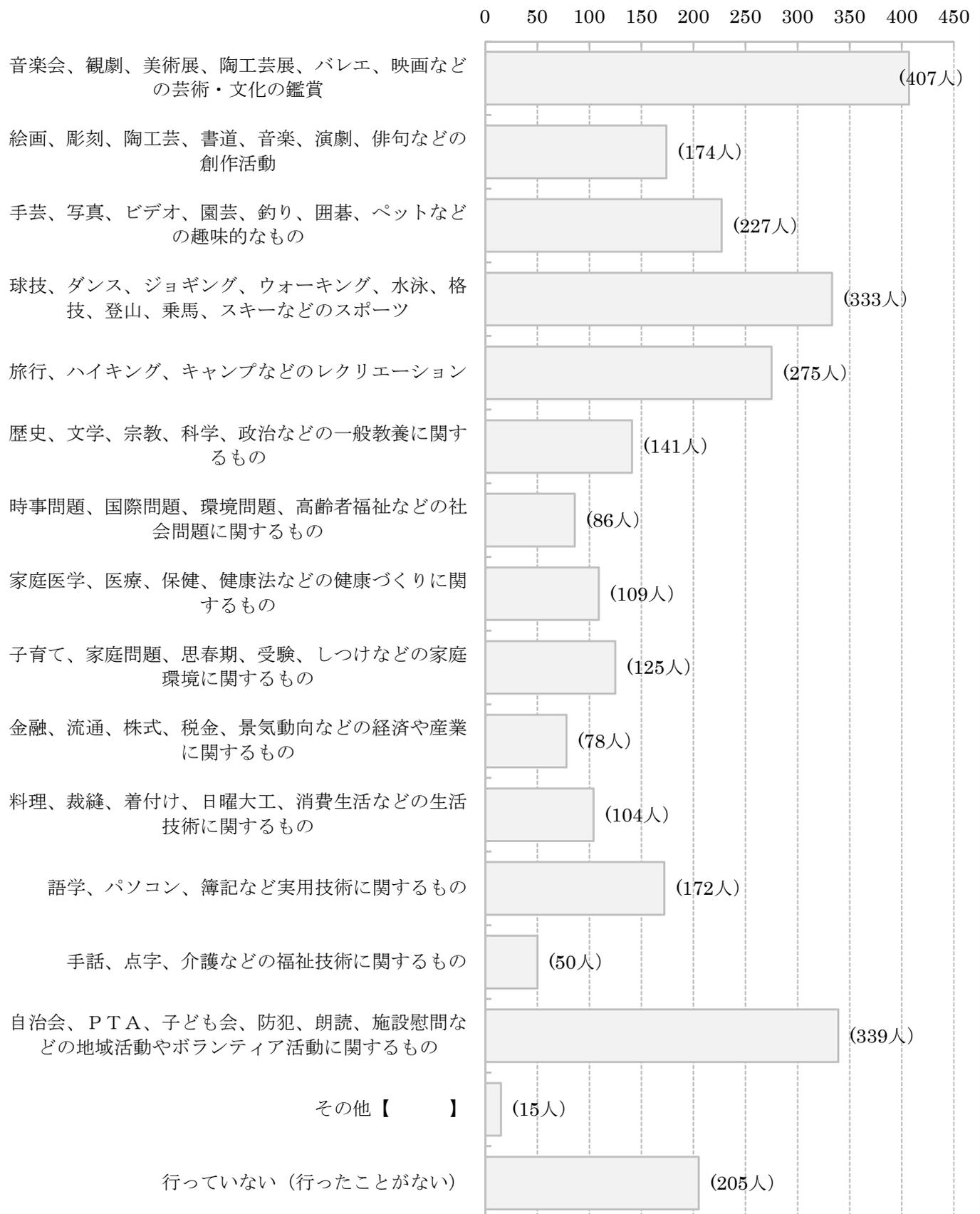
## その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 日本語教育が満足にできているのでしょうか？英語よりも母国語が先ではないでしょうか。
- 英語を学ぶ時の補助金制度を求めます。
- 英語圏の偉人や文化や催しについて学ぶ&日本の偉人や国語力を深める
- 現代はグローバルな社会、これへの対応も、日本文化を尊ぶことも併せて大事、偏らず教育することが望ましい。
- 英語以外の言葉を話す外国籍の方々と交流する。留学生などとの交流
- 自分の意見、考えを明確に言語化出来ること。
- 海外の留学生(大学生や働きに来ている人達)を学校に招いて英会話を楽しんだり、留学生の国の遊びを教わったりする
- 異文化と外国語を学ぶ過程で自国の文化を知ること
- 英語学習も大事だけど、自分たちのこと、地域や歴史を知らないと発信できないのではないのでしょうか、！
- 成田ニュータウン内の小学校を統合し、うちひとつはインターナショナルスクールとする。外国人が市内で大変増えています。
- 英語以外の外国語

[Q10] あなたは、どのような学習や文化・スポーツ活動、地域活動を行っていますか。または、行ったことがありますか。

(回答者数=1069)



複数回答		人	%
	全体	(1069)	
1	音楽会、観劇、美術展、陶芸展、パレエ、映画などの芸術・文化の鑑賞	407	38.1
2	絵画、彫刻、陶芸、書道、音楽、演劇、俳句などの創作活動	174	16.3
3	手芸、写真、ビデオ、園芸、釣り、囲碁、ペットなどの趣味的なもの	227	21.2
4	球技、ダンス、ジョギング、ウォーキング、水泳、格技、登山、乗馬、スキーなどのスポーツ	333	31.2
5	旅行、ハイキング、キャンプなどのレクリエーション	275	25.7
6	歴史、文学、宗教、科学、政治などの一般教養に関するもの	141	13.2
7	時事問題、国際問題、環境問題、高齢者福祉などの社会問題に関するもの	86	8.0
8	家庭医学、医療、保健、健康法などの健康づくりに関するもの	109	10.2
9	子育て、家庭問題、思春期、受験、しつけなどの家庭環境に関するもの	125	11.7
10	金融、流通、株式、税金、景気動向などの経済や産業に関するもの	78	7.3
11	料理、裁縫、着付け、日曜大工、消費生活などの生活技術に関するもの	104	9.7
12	語学、パソコン、簿記など実用技術に関するもの	172	16.1
13	手話、点字、介護などの福祉技術に関するもの	50	4.7
14	自治会、PTA、子ども会、防犯、朗読、施設慰問などの地域活動やボランティア活動に関するもの	339	31.7
15	その他【       】	15	1.4
16	行っていない（行ったことがない）	205	19.2

### 【分析結果】

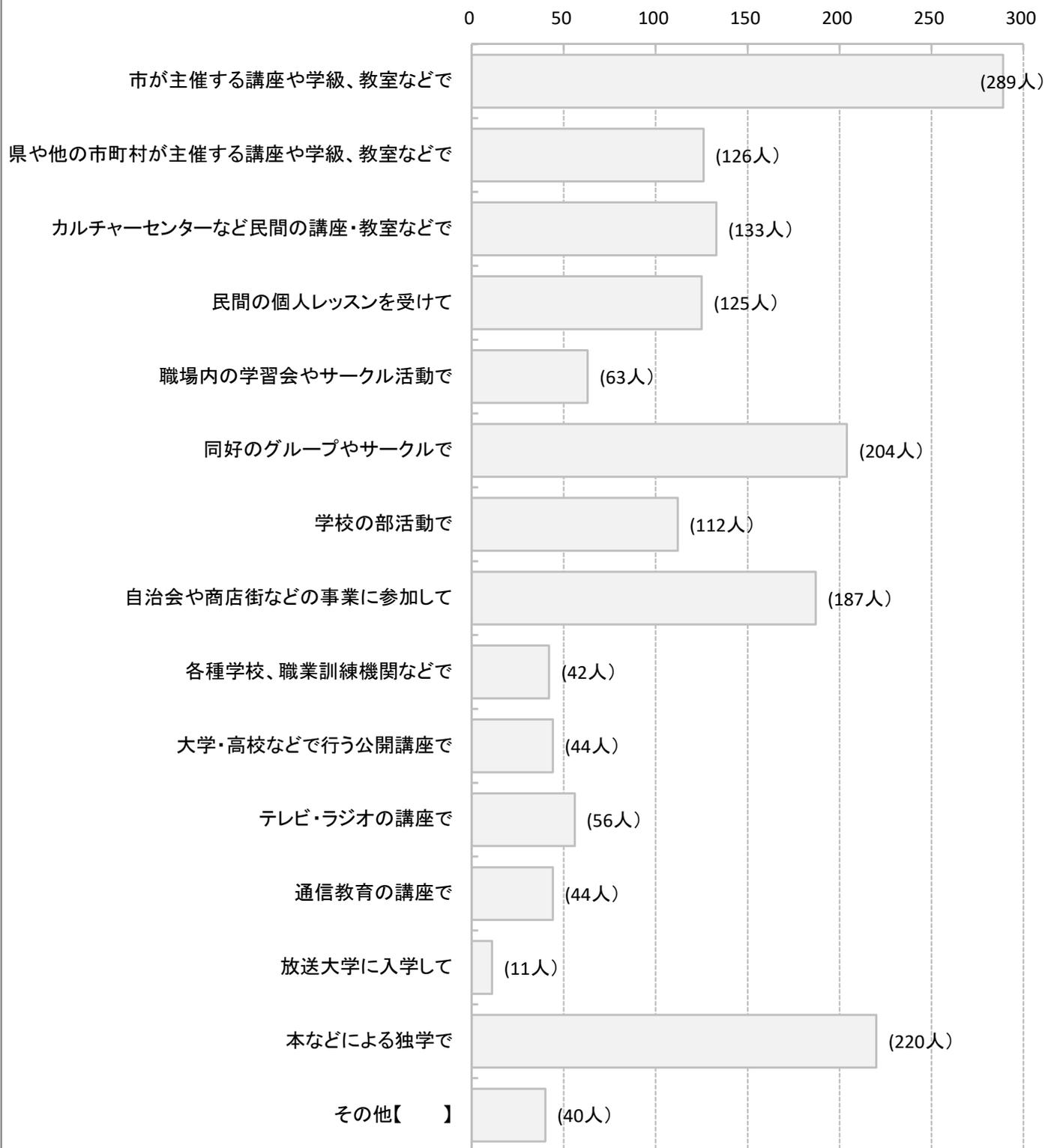
芸術・文化の鑑賞 407 人(38.1%)、地域活動・ボランティア活動 339 人(31.7%)、スポーツ 333 人(31.2%)が回答率の上位になっています。回答者の約 8 割が何かしらの学習や文化・スポーツ活動、地域活動を行っており(または行っていた)各種活動への意欲が伺えます。

### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 相撲
- 祭りへの参加
- 防災防火講話や訓練、防犯パトロール、清掃活動など
- お話しや子供の意見を聞く事
- 編み物
- 読書
- 主に子どもを対象とした、遊び体験活動の企画運営
- 資格取得のための学習
- 以前は、引退された教師と共に、天体望遠鏡を用いた観測・指導会を行っていたが、夜間の立ち入り禁止施策と共に廃止のやむなきに至った。
- 成田祇園祭、国際交流活動
- 障害者ボランティア
- 地域清掃、耕作放棄地の問題
- 金融リテラシー

[Q11] 学習や文化・スポーツ活動、地域活動をどのような方法で行っていますか。または、行っていましたか。(複数選択可)  
(回答者数=864)



複数回答		人	%
	全体	(864)	
1	市が主催する講座や学級、教室などで	289	33.4
2	県や他の市町村が主催する講座や学級、教室などで	126	14.6
3	カルチャーセンターなど民間の講座・教室などで	133	15.4
4	民間の個人レッスンを受けて	125	14.5
5	職場内の学習会やサークル活動で	63	7.3
6	同好のグループやサークルで	204	23.6
7	学校の部活動で	112	13.0
8	自治会や商店街などの事業に参加して	187	21.6
9	各種学校、職業訓練機関などで	42	4.9
10	大学・高校などで行う公開講座で	44	5.1
11	テレビ・ラジオの講座で	56	6.5
12	通信教育の講座で	44	5.1
13	放送大学に入学して	11	1.3
14	本などによる独学で	220	25.5
15	その他【       】	40	4.6

### 【分析結果】

市が主催する講座や学級、教室など 289 人(33.4%)、本などによる独学 220 人(25.5%)、同好のグループやサークル 204 人(23.6%)が回答率の上位となっています。

回答からは、様々な方法で各種活動を行っていることが伺えます。回答者の 4 分の 1 以上が本などによる独学での活動を行っており、その他回答でもインターネットを活用した活動をしているといった回答が見られることから、今後は個人での活動も増加していくことが予想されます。

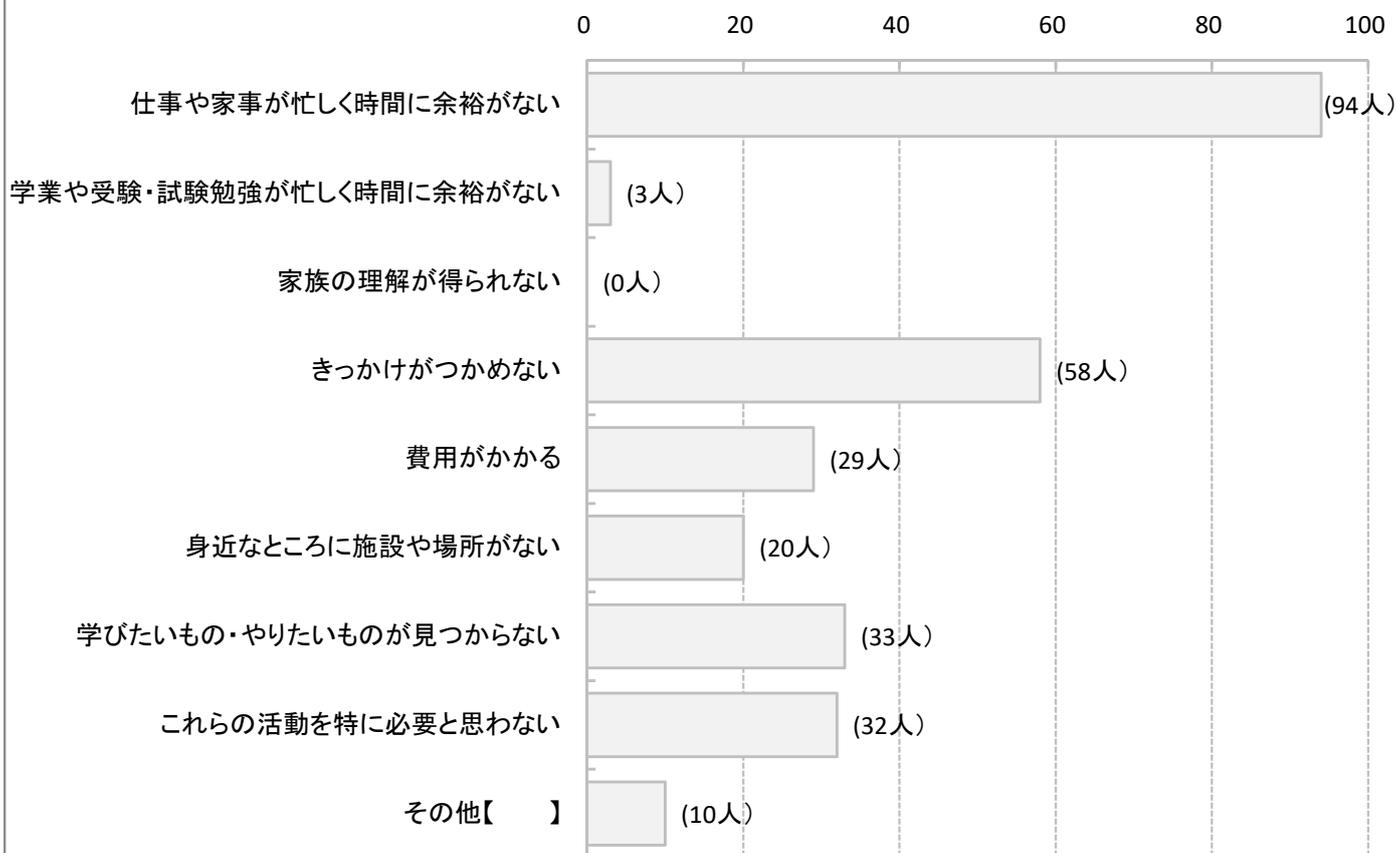
### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- PTA 家庭教育学級主催のもの
- 高齢者対象のみんなでカフェに参加した
- 学校ボランティア
- IT による情報収集
- 近隣の公共施設で個人プレー
- 会社の地域支援活動で
- 友人から誘われて
- 民間のスポーツセンター
- YouTube
- 散歩の途中でお話しをすること
- 指導者側で携わっています
- 成田山仏教文化講座受講
- 職業として
- 大学の講義で
- NPO団体の企画で
- シルバー人材センター
- 市が運営する坂田が池キャンプ場
- 観戦
- 文化会館の無料参加できるイベント
- 企業とNPOのコラボレーションを通じて。
- PTA.オヤジの会
- ユニセフの活動参加

● 祭り 自治会

[Q12] 学習や文化・スポーツ活動、地域活動を行っていない、または、行ったことがない理由は何ですか。  
(回答者数=205)



複数回答		人	%
	全体	(205)	
1	仕事や家事が忙しく時間に余裕がない	94	45.9
2	学業や受験・試験勉強が忙しく時間に余裕がない	3	1.5
3	家族の理解が得られない	0	0.0
4	きっかけがつかめない	58	28.3
5	費用がかかる	29	14.1
6	身近なところに施設や場所がない	20	9.8
7	学びたいもの・やりたいものが見つからない	33	16.1
8	これらの活動を特に必要と思わない	32	15.6
9	その他【 】	10	4.9

【分析結果】

仕事や家事が忙しく時間に余裕がない 94 人(45.9%)、きっかけがつかめない 58 人(28.3%)、学びたいもの・やりたいものが見つからない 33 人(16.1%)が回答率の上位となっています。

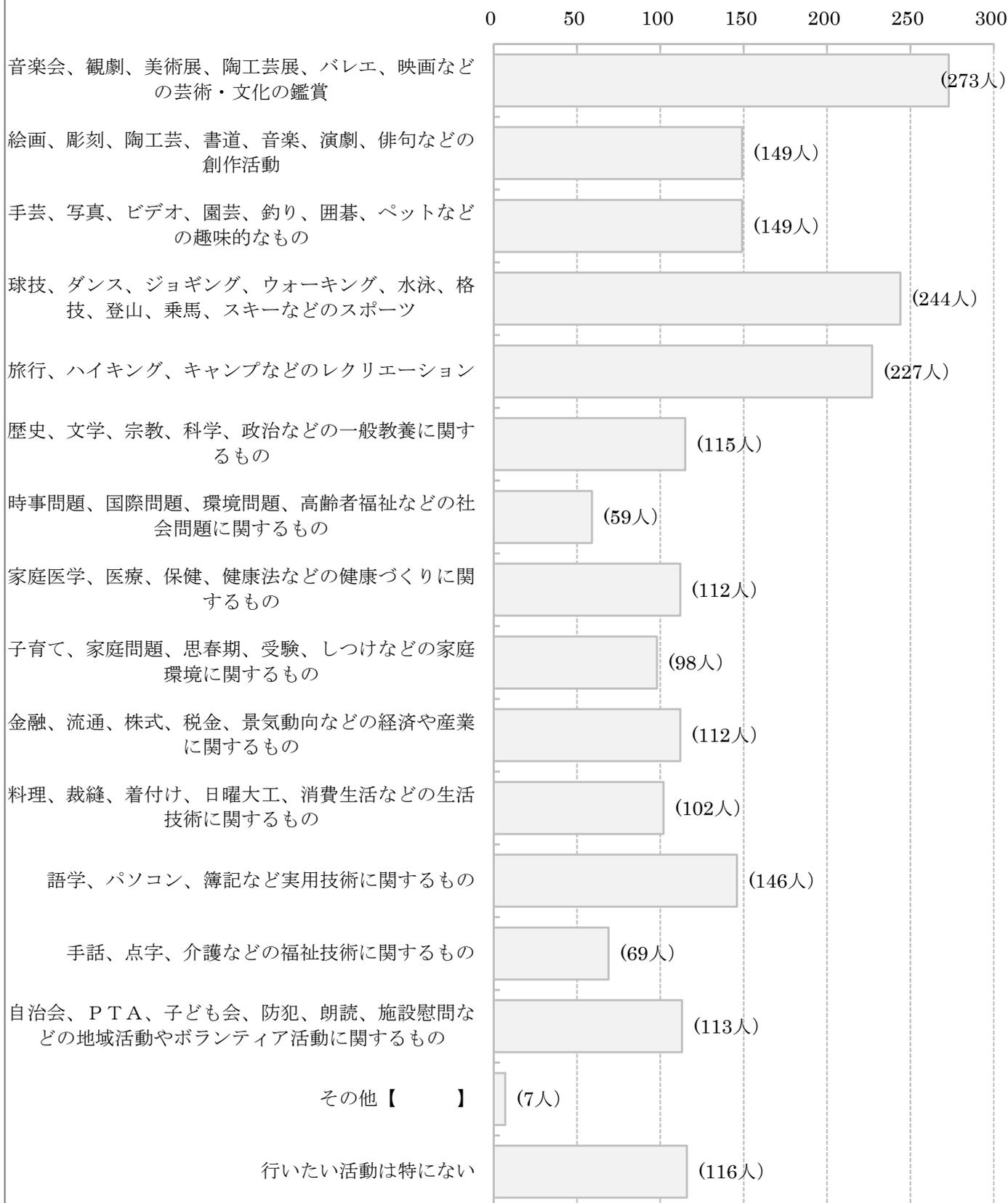
学びたいもの・やりたいものが見つからない、活動を特に必要と思わないと回答された方は全体の約 3 割であり、病気などの心身の不調で活動できない場合を除き、機会やきっかけがあれば、約 7 割方が何らかの活動を行いたいと考えているようです。

## その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 足が悪いので外出が大変で消極的になってしまう
- 他者を入れない雰囲気がある
- 障害があり、出かけることも難しい
- 心身の不調
- 体調によるもの
- 健康面の事情
- 活動を知る機会がなかった
- 小さい子がいる為

**[Q13] あなたは、今後どのような活動を行ってみたいと思いますか。**  
**(回答者数=1069)**



複数回答	人	%
全体	(1069)	
1 音楽会、観劇、美術展、陶芸展、バレエ、映画などの芸術・文化の鑑賞	273	25.5
2 絵画、彫刻、陶芸、書道、音楽、演劇、俳句などの創作活動	149	13.9
3 手芸、写真、ビデオ、園芸、釣り、囲碁、ペットなどの趣味的なもの	149	13.9
4 球技、ダンス、ジョギング、ウォーキング、水泳、格技、登山、乗馬、スキーなどのスポーツ	244	22.8
5 旅行、ハイキング、キャンプなどのレクリエーション	227	21.2
6 歴史、文学、宗教、科学、政治などの一般教養に関するもの	115	10.8
7 時事問題、国際問題、環境問題、高齢者福祉などの社会問題に関するもの	59	5.5
8 家庭医学、医療、保健、健康法などの健康づくりに関するもの	112	10.5
9 子育て、家庭問題、思春期、受験、しつけなどの家庭環境に関するもの	98	9.2
10 金融、流通、株式、税金、景気動向などの経済や産業に関するもの	112	10.5
11 料理、裁縫、着付け、日曜大工、消費生活などの生活技術に関するもの	102	9.5
12 語学、パソコン、簿記など実用技術に関するもの	146	13.7
13 手話、点字、介護などの福祉技術に関するもの	69	6.5
14 自治会、PTA、子ども会、防犯、朗読、施設慰問などの地域活動やボランティア活動に関するもの	113	10.6
15 その他【 】	7	0.7
16 行いたい活動は特になし	116	10.9

### 【分析結果】

Q10において、2番目に多かった回答は、地域活動やボランティア活動 339人(31.7%)でしたが、本問のやってみたい活動となると 113人(10.6%)と大きな下落となりました。原因は様々だと思われますが、社会情勢や生活様式の変化により、活動のあり方について、今後変化していく可能性も考えられます。

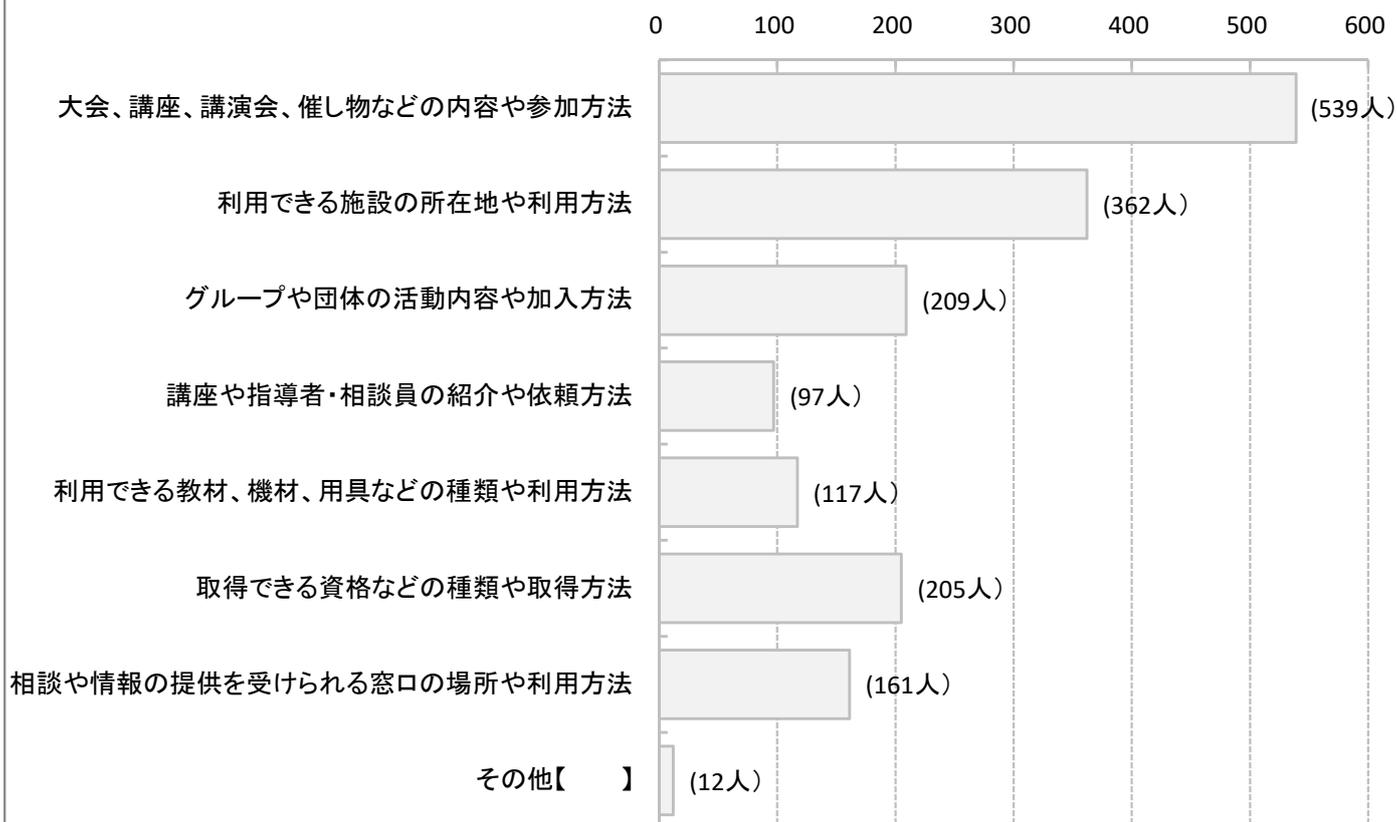
### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 親子と一緒に学べる英会話など
- キャリア形成
- 特別な技量は無いが、戦前、戦後の日本の激動期を、生きて来た経験を子供たちに伝えたい。
- 6項の一般教養ではなく、専門的な研究活動を行うことを目途としている。
- 福祉ボランティア
- ゴルフ大会

[Q14] これから、学習や文化・スポーツ活動、地域活動を行う場合、どのような情報が欲しいですか。

(回答者数=1069)



複数回答	人	%
全体	(1069)	
1 大会、講座、講演会、催し物などの内容や参加方法	539	50.4
2 利用できる施設の所在地や利用方法	362	33.9
3 グループや団体の活動内容や加入方法	209	19.6
4 講座や指導者・相談員の紹介や依頼方法	97	9.1
5 利用できる教材、機材、用具などの種類や利用方法	117	10.9
6 取得できる資格などの種類や取得方法	205	19.2
7 相談や情報の提供を受けられる窓口の場所や利用方法	161	15.1
8 その他【 】	12	1.1

### 【分析結果】

大会、講座、講演会、催し物などの内容や参加方法 539 人(50.4%)、利用できる施設の所在地や利用方法 362 人(33.9%)、グループや団体の活動内容や加入方法 209 人(19.6%)が回答率の上位となっています。

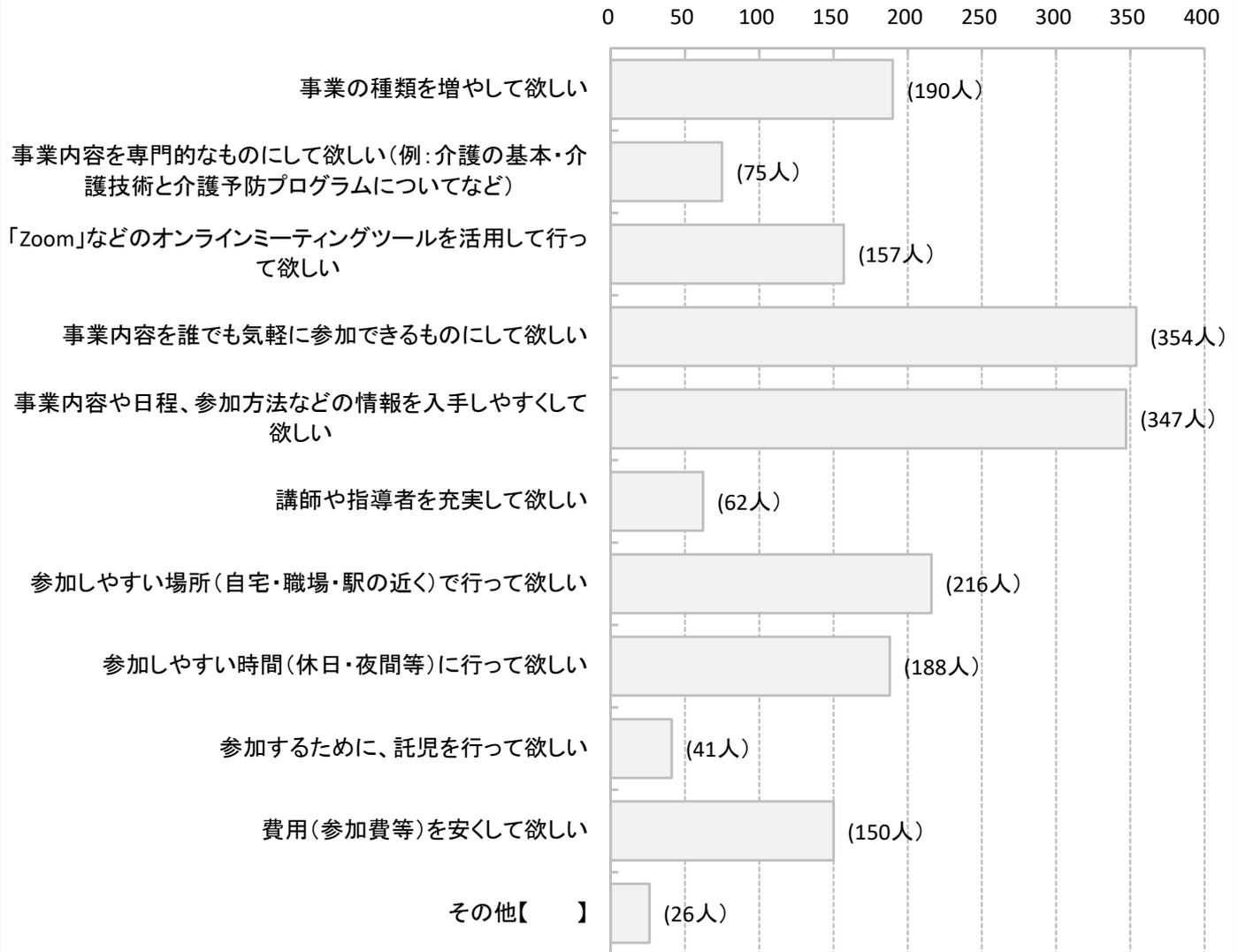
### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 文化サークルの情報を知るポータルサイトなど
- SNS を利用した情報発信
- 子どもを預かってくれるスペース
- コミュニケーション苦手な人間でも参加しやすいイベント
- 大人向けではなく子ども向けのものを作ってほしい

[Q15] これから、市が実施する市民の学習や文化・スポーツ活動、地域活動を推進するための事業にどのようなことを望みますか。

(回答者数=1069)



複数回答		人	%
	全体	(1069)	
1	事業の種類を増やして欲しい	190	17.8
2	事業内容を専門的なものにして欲しい(例:介護の基本・介護技術と介護予防プログラムについてなど)	75	7.0
3	「Zoom」などのオンラインミーティングツールを活用して行って欲しい	157	14.7
4	事業内容を誰でも気軽に参加できるものにして欲しい	354	33.1
5	事業内容や日程、参加方法などの情報を入手しやすくして欲しい	347	32.5
6	講師や指導者を充実して欲しい	62	5.8
7	参加しやすい場所(自宅・職場・駅の近く)で行って欲しい	216	20.2
8	参加しやすい時間(休日・夜間等)に行って欲しい	188	17.6
9	参加するために、託児を行って欲しい	41	3.8
10	費用(参加費等)を安くして欲しい	150	14.0
11	その他【 】	26	2.4

【分析結果】

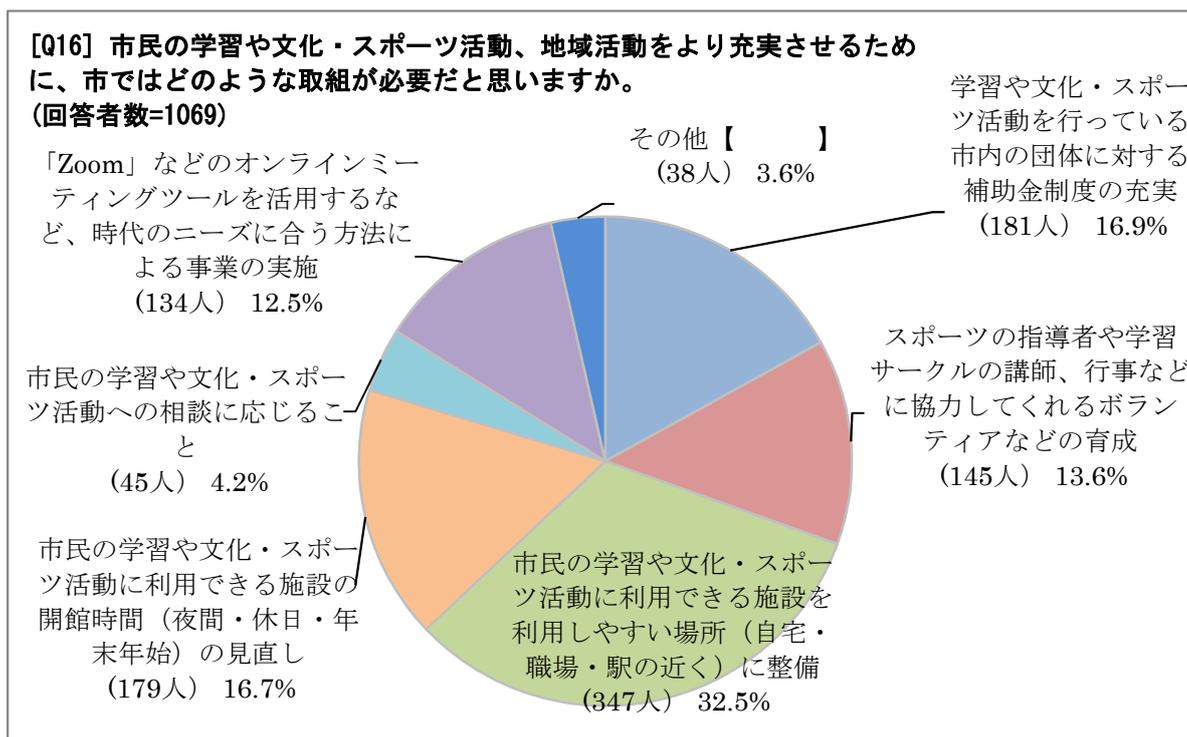
事業内容を誰でも気軽に参加できるものにして欲しい 354 人(33.1%)、事業内容や日程、参加方法などの情報を入手しやすくして欲しい 347 人(32.5%)、参加しやすい場所で行って欲しい 216 人(20.2%)が

回答率の上位となっています。事業内容の専門性よりも、気軽に参加できるといったハードルが低いものが必要という意見が多いようです。

### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- なし
- 現状で充分ありがたい
- 子どもと一緒に参加できる
- HP や SNS などの情報源が欲しい
- 昼間の講演のアーカイブによるオンデマンド視聴
- 毎回ではなくて良いので、たまには労働者が参加可能な日時に開催していただけたら…とは感じています
- 大人向けではなく小中学生対象のものの方がいい
- 赤坂公園を改良して、プレイパークとしての機能を充実させていただきたいです。
- 障害者が参加できる旅行
- 成田での伝統あるお祭りと日時を被せないで欲しい
- 資格の取得を目指すなど、具体的な成果を得られる事業なら参加したい。



単一回答	人	%
全体	(1069)	
1 学習や文化・スポーツ活動を行っている市内の団体に対する補助金制度の充実	181	16.9
2 スポーツの指導者や学習サークルの講師、行事などに協力してくれるボランティアなどの育成	145	13.6
3 市民の学習や文化・スポーツ活動に利用できる施設を利用しやすい場所（自宅・職場・駅の近く）に整備	347	32.5
4 市民の学習や文化・スポーツ活動に利用できる施設の開館時間（夜間・休日・年末年始）の見直し	179	16.7
5 市民の学習や文化・スポーツ活動への相談に応じること	45	4.2
6 「Zoom」などのオンラインミーティングツールを活用するなど、時代のニーズに合う方法による事業の実施	134	12.5
7 その他【 】	38	3.6

## 【分析結果】

施設を利用しやすい場所に整備 347 人(32.5%)、対象の活動を行っている市内の団体に対する補助金制度の充実 181 人(16.9%)、施設の開館時間の見直し 179 人(16.7%)が回答率の上位となっています。

施設整備の充実や会館時間の見直しが必要と考える方が多く、市は活動の中身に細かく関わるより、まずは「快適に活動できる場」を提供して欲しいと考える方が多い印象です。

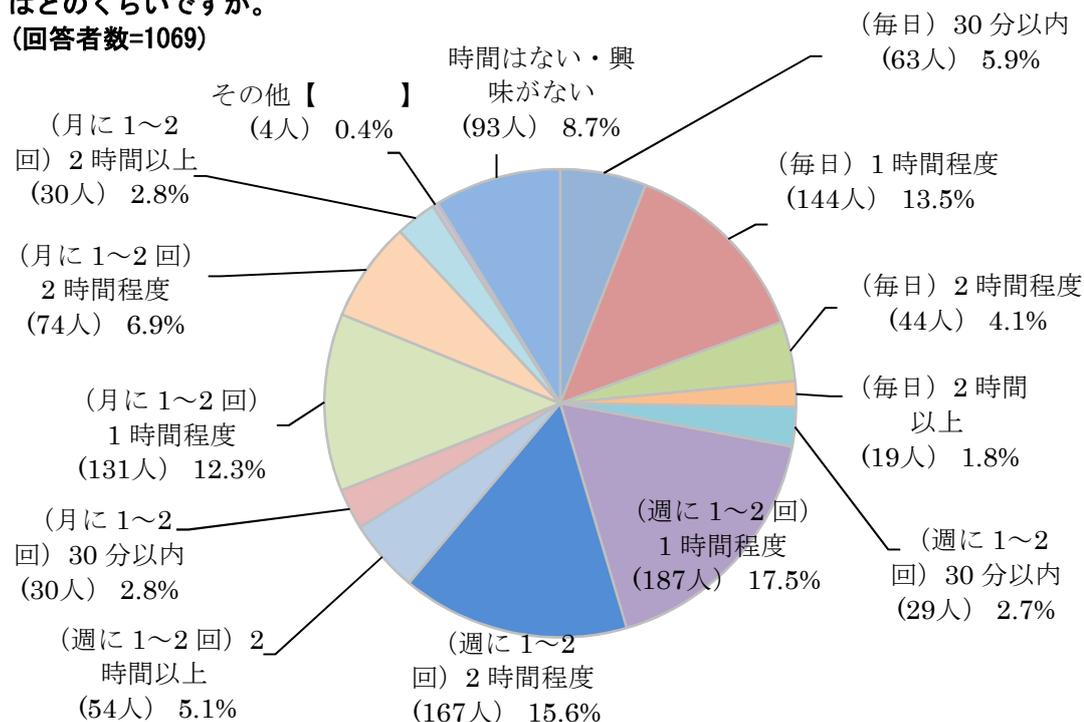
## その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 内容の無い無駄な活動を廃止する
- 一般の講師が参加しやすくすること
- 市がやらなくても民間に任せればいい
- トリムコースの充実
- 大学と供託して講演や講座を増やして欲しい。公開授業などがあれば参加したい。
- HP や SNS などの情報源
- 施設を利用する際の予約方法の改善
- 活動を行う各コミュニティの整理、体系化(習熟度・目的別など)
- 活動する団体の支援基準について 明確にする
- 行政が力を入れる必要はない
- 補助金は、むやみに支給すべきではない。
- 興味はあっても文化的な趣味にかけられるお金があまりないので、そんなに専門的ですごいものでなくて構わないので低価格だったり無料のイベントがあると嬉しいと思っている一人です
- 活動内容、方法、参加方法を皆が見える状況を作って欲しい。
- 学習、サークルに使用できる場所数の拡大、施設の充実
- 託児
- ボランティアに頼るのではなく、報酬も必要ではないか

**【Q17】あなたが学習や文化・スポーツ活動、地域活動にかけられる時間はどのくらいですか。**

(回答者数=1069)



単一回答		人	%
	全体	(1069)	
1	(毎日) 30分以内	63	5.9
2	(毎日) 1時間程度	144	13.5
3	(毎日) 2時間程度	44	4.1
4	(毎日) 2時間以上	19	1.8
5	(週に1~2回) 30分以内	29	2.7
6	(週に1~2回) 1時間程度	187	17.5
7	(週に1~2回) 2時間程度	167	15.6
8	(週に1~2回) 2時間以上	54	5.1
9	(月に1~2回) 30分以内	30	2.8
10	(月に1~2回) 1時間程度	131	12.3
11	(月に1~2回) 2時間程度	74	6.9
12	(月に1~2回) 2時間以上	30	2.8
13	その他【 】	4	0.4
14	時間はない・興味がない	93	8.7

**【分析結果】**

週に1~2回1時間程度 187人(17.5%)、週に1~2回2時間程度 167人(15.6%)、毎日1時間程度 144人(13.5%)が回答率の上位となっています。

日にち単位で見ると、毎日と回答した方は約3割、週にと回答した方は約4割、月にと回答した方は約2割となっています。9割以上の方が月に1~2回以上、活動に時間が使える一方で、時間単位で見ると2時間以上の時間が使えると回答された方は、全体の1割程度しかいないことがわかりました。

多くの方が、限られた時間の中でうまく時間を作って活動をされていることが伺えます。

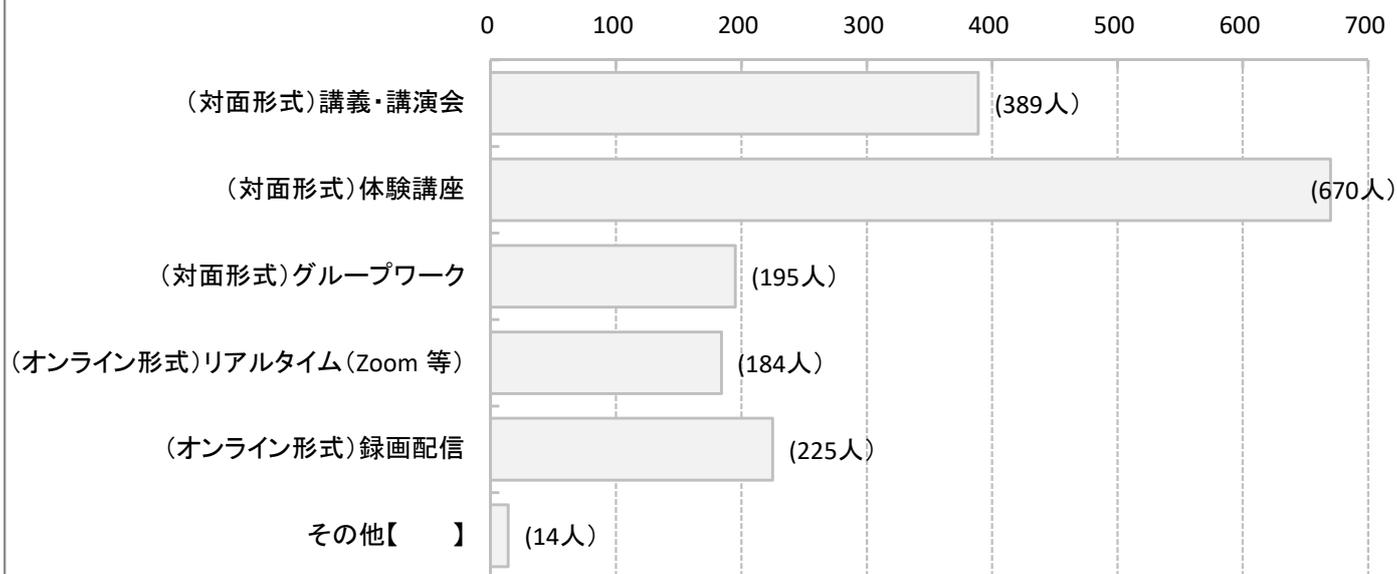
**その他意見(抜粋)**

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 年5日位
- 内容により優先順位が変わるのでわからない
- 今は幼児育児中なのでなかなか難しいです

[Q18] あなたが学習や文化・スポーツ活動、地域活動を行う場合、どのような形で学びたい  
 と思いますか。

(回答者数=1069)



複数回答		人	%
	全体	(1069)	
1	(対面形式) 講義・講演会	389	36.4
2	(対面形式) 体験講座	670	62.7
3	(対面形式) グループワーク	195	18.2
4	(オンライン形式) リアルタイム (Zoom 等)	184	17.2
5	(オンライン形式) 録画配信	225	21.0
6	その他【 】	14	1.3

### 【分析結果】

(対面形式) 体験講座 670 人(62.7%)、(対面形式) 講義・講演会 389 人(36.4%)、(オンライン形式) 録画配信 225 人(21%)が回答率の上位となっています。

対面形式での活動を希望される方が多いですが、オンライン形式での活動を希望される方が 2 割以上いることから、今後は活動の種類に応じて対面とオンライン形式を使い分ける方も増えていくのではないかと考えられます。

### その他意見(抜粋)

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- そのものによる。創作活動なら対面、講義なら Web
- 自習

## Q19 その他、成田市の教育と生涯学習についてご意見等があればご記入ください。

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 両親共に働いている家庭も多いため、PTA の機能を外部に頼むなどの負担を減らして欲しい。また、成田市が好きなので地域に愛着を持った子どもに育てたいと思っておりますが、特に未就学児は保育所や幼稚園など多種あり、地域のお友達が出来にくい環境にあるため、未就学児を対象として定期的にお友達が作れる会合みたいなものがあると良いなと思いました。あとは、引き続き大人になっても使える英語、英会話に力を入れていただきますよう、よろしく願いいたします。
- 小学校や公民館の図書室の一般公開してくれる所が増えると嬉しいです。本の貸し出し場所の選択が広がって地域活性化に繋がると思います。既に実行されてあるのであれば幸いです。
- もりんぴあや公民館など教室がある場所と講師(英語・華道・手芸など)教えられる人がマッチングできるカルチャースクールのようなシステムがあれば良いと思う。もりんぴあの教室など小学校や駅からも近く立地がいいので大人のカルチャー教室だけでなく子供向けのものも増やしてほしい。
- 講座の募集、体験後続けたいと思う参加者が集まったが、場所の確保が難しく長く続かない事が多い。施設整備に力を入れて欲しい。
- 子供たちの放課後の過ごし方について、何か良いものがないか。校庭の開放とか、教室で宿題や自主学習ができるとか。先生の負担が増えますが、そのためのボランティアを募るとかすれば出来るのではないか。
- 本市に限らず教職員は一般の公務員以上に狭い村社会の中で完結しがちなので、話していて一般的な感覚とズレていると感じることがある。これは中学校が特に顕著で、部活動、委員会の担当の教職員はハラスメントについての意識を更新した方がよい。
- 最近、水泳の授業が少ないと感じています。スイミング習っている生徒とあからさまに差があると思います。数回の授業のために買う水着セットも成長に合わせると金額もかさみ、せっかくプールがあるのに夏休みも入れない、練習できない。外部コーチを頼むのも人手不足なのは理解していますが…
- 土曜日の学校が休みになり授業時間が減っているのにも関わらず、英語を小学校で取り入れる。漢字読めない書けない大人を作らない為にも国語は特に漢字はしっかり書けるようにすべきだと思う。子供の時に必死になって覚えた事は大人になっても生きている。
- 最近、地域での人付き合いが希薄になっていることもあって、小さくても、なにかあるとすぐ学校にクレームが入るように思います。子どもたちは、その場でないと反省できなかつたり、実際に迷惑を掛けていることがわかりにくかつたりすると思います。知らない人に話しかけられても…という面もありますが、危ないことをしていたら近くにいる大人が指摘する、良くない行動はその場で直す、という事が地域でできると子どもたちの成長に繋がっていくと思います。指摘や指導と、怒られるは、似て非なるものではありませんが、知らない人に注意された、怒られたという経験は、自分のしてしまった事を省みる為にはあっていいことと思っております。
- 子育てをしていると読書をする時間がないので、図書館で託児サービスを実施してほしい。テスト期間中等とくに学生等で混み合っているため、駅やニュータウン中央周辺に、無料の学習スペースを新規に作ってほしい。0 歳からのコンサート等の赤ちゃんから参加できる音楽イベントを市に実施してほしい。
- 高齢者は車の運転をしなくなるので、徒歩圏内に講座の会場を設定してほしい。学校の部活動(特に運動)を社会活動の中でできるよう、指導者の育成や規則の制定など進めてほしい。
- 地域社会や家族関係(世帯)そのものが希薄化しています。成田市はお祭りがあるので歴史や文化を通じて、倫理観を養う教育をして欲しいです。一方で、ハラスメント問題は歴史や文化と矛盾する背景が多くあります。バランスを考えながら皆で考えていきたいです。

- 子どもが多様な価値観を持つ人と出会う場を増やしてほしい。障がい者、高齢者、異文化のルーツを持つ人だけでなく、音楽や芸能などの芸術家や専門技術者など様々な職業人との出会いも小学校から必要だと思う。
- 茨城県境町の子どもの英語教育、移住政策、交通政策等に学ぶところがあると思う。成田空港があるから英語教育に力を入れるだけでなく、地の利を活かして空港関連の職業(航空管制官、パイロット、客室乗務員、地上職員、官庁職員)の話聞くなど、なんの為に英語を学ぶかの動機付けが非常に重要と思う。
- 生涯教育について、短い時間、単発の内容、興味のある内容を、専門的に集中出来るよう、選択できる生涯学校にして欲しい。例:ゴルフ科 音楽科 声楽科
- 私はもう娘たちが社会人になってしまいましたが思ったことは有名人になったり活躍すると市役所の玄関などに飾られたりしてはいますがそうではなく部活動などで頑張ってる子たちの姿や障害の子達を作ったり制作したものを気軽に飾ったりして欲しかったです。そうすることによってもっと頑張ろうってなると思います。
- せっかく成田市に大学を誘致したので、大学で聞ける講義、資格を取るサポートなどと良いです。
- 外部の教育・学習活動より、まずは本来の学校における教育活動を充実させて欲しいです。公立学校の見直しをしないと優秀な生徒は外の私立へ流れ、ゆくゆく成田市の空洞化に繋がると考えます。ご検討よろしくお願い致します。
- 高齢者向きの平日に催す教室はありますが、育児中、働いている世代の為の日曜教室があると参加しやすいです。
- 学校の教科書の内容が偏ってしまっていると聞いたことありますが、副読本などの選定を柔軟に決めて欲しい。自分の国が好きになる、成田が好きになる教育が必要だと思います。好きならば成田で働こうという気にもなるはずだと思います。人口も長期的に増えていくはずで、経済も発展の方向へ向かうと信じています。
- シニア世代の就労率は高まっていて、仕事の合間に講座やセミナーに参加するケースが多いので、参加しやすい時間や曜日の設定を検討して欲しい。
- 大人の娯楽に力を入れるよりも小中学校の教員を増やしていき子どもに力をいれるべき
- 生涯学習は女性が積極的に参加しているイメージがある、男性も参加しやすい講座などを考えてほしい
- 日本の歴史、地域の歴史を愛着誇りを持てる子供を育てて欲しい
- 「広報なりた」で様々な講座を行ってくださっているのを見つけるのを楽しみにしています。時間と場所が合えば参加しています。ダンスや講座を zoom や YouTube など配信していただくとより多くの体験ができるのではと思います。同じ参加料を支払って(もしくは多く支払って)できれば1週間ほど配信していただくと好きな時間を選んでとても助かります。
- 教職員の働き方改革はどのようになっているのか、気になっているところはあります。自宅近くの学校は9時過ぎまで電気がついていることもあり、子供たちのために時間が使えているのか心配になります。地域などは学校の求めに応じ手伝いをし、全体で子供を育てていく方針は変えず、業務削減につなげていってくださればと思います。

## 【まとめ】

このたびは、「教育に関するアンケート」にご回答いただき、ありがとうございました。

アンケート結果から、約7割の方が小中義務教育学校における教育は、学校だけで完結させるのでは

なく、保護者や地域住民が学校の活動に関わりを持った方が良いという意見であり、単純な学力の向上を求めるだけでなく、他者との上手なかかわり方や、思いやりの心といった共感力や他者との相互理解力を高める教育を重視すべきと考える方が多いようです。

生涯学習においては、回答者の多くが何らかの活動を行っているとともに、限られた時間の中でうまく時間を作って活動をしており、生涯学習への関心が高いことがわかりました。講座の受講等、対面での活動以外にも、書籍や動画配信等を活用し、独学での活動を行っている方も一定数おり、活動の形式が多様化していることが伺えます。

教育委員会では、令和 8 年度までに現在の「成田市学校教育振興基本計画」および「成田市生涯学習推進計画」を統合し、教育分野に関する施策を総合的かつ体系的に進めていくことを目的とした「成田市教育振興基本計画」の策定に向けて準備を進めているところです。計画の策定にあたっては、今回のアンケート調査のほか、市内小中義務教育学校の児童・生徒、保護者、教職員や生涯学習施設利用者など様々な方を対象にアンケート調査を実施しています。

皆様からいただいたご意見等を踏まえ、計画の策定作業を進めてまいります。